

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第39期(2026年2月期)中間期の業績についてご報告を申し上げます。

第39期(2026年2月期)中間期の連結業績について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇や米国の通商政策の影響等が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、主力である国際貨物輸送の取扱増加に向け、積極的に営業活動を展開するとともに、通関や配送、輸出入の付帯業務

の受注増加を目指し、新規顧客の獲得、既存顧客との取引深耕に取り組んでまいりました。



代表取締役社長夫倉英一

当中間連結会計期間では、アパレル関連の製品を中心に夏物商材などの荷動きが比較的堅調であったことや、それにより通関受注件数が伸長したことに加え、当中間期前半の海上貨物輸送の運賃水準が前年同時期に比べて高く推移していたことが追い風となり、営業収益は増加しました。

また、一部の顧客との間で、前連結会計年度において上昇した海上運賃や値上がりする日本国内の陸送費用などの価格改定交渉を行い、価格転嫁を進めてまいりました。その結果、昨年の夏以降大きく低下した売上総利益率は改善の傾向にありましたが、前年同期に比べて低い水準であったことから、売上総利益は減少しました。

そして、販売費及び一般管理費においては、給与のベースアップなどにより人件費は増加しましたが、その他の費用の抑制などにも取り組み、可能な限りの利益創出に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の営業収益は28,244百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は2,023百万円(前年同期比4.9%減)となりました。また、経常利益は、前年同期と比較して為替差益や受取利息、持分法による投資利益等が増加したことで2,397百万円(前年同期比2.4%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は1,628百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

業績ハイライト

営業収益



経常利益



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2025年 2月28日現在)	当中間期末 (2025年 8月31日現在)
流動資産	20,353	20,724
固定資産	5,184	5,599
資産合計	25,538	26,323
流動負債	4,409	4,885
固定負債	1,650	1,548
負債合計	6,059	6,434
純資産合計	19,478	19,889
負債純資産合計	25,538	26,323

親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



株式情報

■株式に関する情報

(2025年8月31日現在)

発行可能株式総数 53,856,000株 発行済株式総数 23.913.600株

(自己株式420,008株を含む。)

株主数 15.438名

■会計概要

(2025年8月31日現在)

名 株式会社エーアイテイー 英文社名 AIT CORPORATION

本 T541-0053

> 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階 TEL.06-6260-3450(代表)

設 立 1988年2月 箵 本 余 500百万円

1,249名(連結)、273名(単体) 従業員数

事業内容 貨物利用運送事業(外航海運·国際航空貨物·

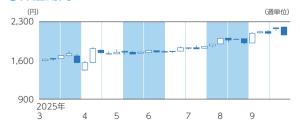
> 貨物自動車·鉄道·内航)、航空運送代理店業、 通関業、倉庫業、海運仲立業、損害保険代理 店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに 輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

■所有者別株式分布状況

(2025年8月31日現在)



■株価動向



■取締役及び監査役

(2025年8月31日現在)

代表取締役社長 矢倉 社外取締役 神宮司 英一 常務取締役 馬上 社外取締役 岡本しのぶ 真 一 社外取締役 北岡 常務取締役 香月 俊哉 侑子 役 大槻 信夫 常勤監査役 松川 康司 取 締 役川峯 實 社外監査役 西島 佳男 取 役 内田 利明 社外監查役 大久保幸治

株式会社エーアイテイー

大阪本社:〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号堺筋本町センタービル15階 Tel. 06-6260-3450(代表)

